

暮らしをまもり 町田にぬくもり

森じゅん子

公明党町田総支部 介護福祉対策部長・女性活躍推進部長

プロフィール 1983年、町田市生まれ。鶴川第一小学校・鶴川中学校、町田家政福祉高等専修学校(福祉科)を卒業後、介護療養型医療施設に3年間勤務。出産・育児を経て、不動産会社に6年半勤務。母、夫、長男、長女、次女の6人家族。野津田町在住。介護福祉士。



S N S も 発 信 中



紹介動画
はこちら



誰もが安心して暮らせる町田へ——森じゅん子の決意

■子育ての経験を力に

森じゅん子は、働きながら3人の子育てをしてきました。その中で、児童手当の拡充、医療費の助成、小・中学校の給食費無償化など、公明党の子育て支援に何度も助けられました。政治が日々の暮らしを守ることを実感したからこそ、「今度は私が、同じ悩みを持つ人の力になりたい」と、改めて市政への挑戦を決意しました。

■介護に安心と笑顔を

介護は、私たちの生活に直結する大切な課題です。介護福祉士の森じゅん子は、介護職に携わる方々との懇談などを通し、多くの声を聴き、介護現場の変化を捉えてきました。介護される方もする方も笑顔の日々が送れるよう、課題の解決に全力を尽くします。



■あなたの声をカタチに

今、森じゅん子は地域を走り回っています。「一人暮らしで将来が不安」「子育てにお金がかかる」「交通が不便」——そんな切実な声を、必ず市政に届けます。高齢者の見守りや医療・介護の充実に加え、子育て世代の負担を減らし、誰もが安心して暮らせる町田をつくります。

ネットワークを生かした公明党の物価高対策

「即効性」「中間所得層まで」の支援を

町田市

2025年12月8日に石阪市長に緊急要望。重点支援地方交付金を活用し、食料品高騰の負担を軽減するために、即効性があり、中間所得層まで行き渡る支援策を要望しました。

東京都

●東京アプリ生活応援事業 1～3月に開始予定

15歳以上の都民が「東京アプリ」を活用し、11,000円相当のポイントがもらえます。都議会公明党の推進で実現へ！

取得方法

①東京アプリをダウンロード



②マイナンバーカードで本人認証



全国

●1～3月の電気・ガス代補助 一家庭あたり約3,000円負担減

●ガソリン税の暫定税率廃止 1ℓ約15円安く

●「年収の壁」の見直し 一人約2～4万円の所得税減税

●児童手当の増額 子ども一人あたり2万円の「応援手当」



公明党町田総支部の主な政策



子育て・教育支援

0円子育て

- 幼稚園、保育園の給食費を無償化
- 学校の教材費や学用品、行事費を無償化
- 小児インフルエンザ予防接種の公費助成

「小1の壁」解消へ

共働き世帯の親が、小学校入学後の始業前などの預け先に困る「小1の壁」を解消します。



医療・福祉、高齢者支援

シルバーパスを都外でも

公明党の提案により、12,000円に引き下がったシルバーパス。さらに都外へ越境する区間でも利用できるよう環境整備を進めます。

がん検診の費用軽減

病気を未然に防ぎ、医療費を抑制するため、成人健診や歯科検診の受診率向上を推進。さらに、がん健診の費用を軽減します。

魅力ある街づくりへ

デジタル地域通貨で経済対策

市内限定のデジタル地域通貨（キャッシュレス決済）を発行し、給付金の活用などで市内経済を活性化させます。

感震ブレーカー設置補助

地震による通電火災を防ぐ「感震ブレーカー」の設置補助を市内全域に拡大します。

